

矢高同窓会報

発行所
岡山県小田郡矢掛町
岡山県立矢掛高等学校
同窓会
電話 (0866) 82-0045
82-0054
編集兼発行人
同窓会事務局
印刷所
有限会社あさひ印刷所

ごあいさつ

矢掛高等学校同窓会会長 池田道孝



同窓会の皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナが5類に移行されて振りを取り戻し観光地・いろいろなイベントの復活

等日常生活も以前の状態に戻ったようであります。夏の風物である花火大会、夏祭りも見受けられました。しかしながら第九波ともいべき感染者は増加しているようであります。こうした状況下、同窓会も5月16日関東支部、6月4日倉敷たかつま会総会が開催されいよいよ11月5日には同窓会総会が予定されており、幹事

団の皆様方にはお世話になります。私は関東支部の総会に出席させていただきましたが、コロナの影響が半年の半数程度の参加者でございました。しかしながら高齢化社会とはいえ92歳の大先輩お二人が参加され大変感動いたしました。

さて、同窓会の支部でございすが現在、矢掛支部始めとして順不動で井原・笠岡・総社・倉敷・岡山・広島・備後・近畿・関東、そして矢掛町役場支部が60名強の会員で誕生しました。今後の同窓会活動がより活発になることを期待しております。過去には台湾支部も存在していましたが、現在は消滅しており本校創立120年の歴史の中で貴

重な支部でございました。

少子高齢化がどんどん進んでいく我国では、出生者数が遂に80万人を割りました。本校でも入学者が100人をきりまじた。昔のことを申し上げては失礼かと思いますが、我々が在校生の時代には1学年330人、教職を含めれば1千人以上が学んでおりました。また隣には、矢掛商業高等学校もあり現在では、想像もつかない生徒の数でした。こうした状況下、岡山県では教育研究協議会の提言に基づき県立高等学校の教育体制整備について「整備実施計画」を策定しております。しかしながら教育委員会では、生徒数が一定数を下回った

県立高等学校の募集は停止するなどとした再編計画について市や町に県立高校が1校しかない場合、その学校を再編の対象にしない方針を決めました。県教育委員会は、少子化が進んでいることを踏まえ平成31年2月に県立高校の再編計画を策定しました。計画では令和5年度以降の1年生の生徒数について100人を下回る状況が2年続いた高校は翌年度の生徒の募集を停止し在校生の卒業とともに閉校するとなっております。しかし地域から県立高校がなくなると地元の中学生的進路選択や自治体の移住政策などに大きな影響を及ぼすとして県議会から配慮を求める要望がでておりました。これを受けて県教委は、市や町に県立高校が1校しかない場合、令和10年度まではその高校を再編の対象にしない方針を決めました。この方針により9市町村にある県立高校が再編の対象から除外されることになりました。

こうした厳しい状況下ではありますが、本校では校長以下教職員一丸となって魅力ある学校づくりに励んでおります。整備実施計画の中に、新たな時代を生き抜く力と高い志を育む教育の推進として社会に開かれた教育課程の実現とあり、その方策として地域の関係者の意見を聞きながら育て

たい生徒像と学びの内容・方法を明確にとあります。本校ほど、地域と密着した学校運営をされている高校は県内でも数少ないのではないかと思います。今後とも、町内唯一の県立高校としての未来ある学校づくりのためにご支援よろしくお願い申し上げます。

いの方々と久しぶりの交流は大変楽しく、心温まる機会でありました。その会の中で、ある昭和42年卒の方から、「私にはもうこのアルバムは必要ないので、学校に寄贈します。」と当時の卒業アルバムをいただきました。学校に帰り、アルバムの内容を拝見してビックリ！何とA組からG組まで。しかも各クラス50名ずつ。つまり生徒数は1,000名を超えていたのです。現在本校の生徒数は300名程度。つまり生徒数が多い頃の約

若々しい力の大切さ

校長 高月秀人



同窓会会員の皆様におかれましては、各方面で益々ご活躍のことと、お喜び申し上げます。

さて、本年度5月16日(火)に東京都千代田区丸の内におきまして、矢掛高等学校関東支部同窓会が数年ぶりに開催され、私も参加させていただきました。支部長の石井祥一郎様をはじめ関東にお住

たい生徒像と学びの内容・方法を明確にとあります。本校ほど、地域と密着した学校運営をされている高校は県内でも数少ないのではないかと思います。今後とも、町内唯一の県立高校としての未来ある学校づくりのためにご支援よろしくお願い申し上げます。

いの方々と久しぶりの交流は大変楽しく、心温まる機会でありました。その会の中で、ある昭和42年卒の方から、「私にはもうこのアルバムは必要ないので、学校に寄贈します。」と当時の卒業アルバムをいただきました。学校に帰り、アルバムの内容を拝見してビックリ！何とA組からG組まで。しかも各クラス50名ずつ。つまり生徒数は1,000名を超えていたのです。現在本校の生徒数は300名程度。つまり生徒数が多い頃の約

3分の1に減少しているという状況に改めて気が付かされた瞬間でした。

当時のアルバム写真からは当時の高校生たちのあふれんばかりの若々しい、澁淵としたエネルギーが伝わってきました。「当時は中学生も、この地に育った者は矢掛高校に進学するのが当たり前でした。他の選択肢は全く考えなかつた。」と、ある卒業生の方もおっしゃっておられました。当時は矢掛町など岡山県の中山間地域にも人が多く、高校入試は小学区制で、交通手段も限られていたから、地元で育った中学生の大多数が矢掛高校に進学しており、他の高校に行くという発想そのものがなかつたと思われま

れます。

同窓会関東支部長の石井祥一郎様をはじめ、この同窓会に集われた諸先輩方の、颯爽としたお姿に、深い敬意と感謝の念を抱いた同窓会でした。

同じく6月4日(日)には、総社市国民宿舎サンロード吉備路におきまして、倉敷たかつま会総会

が開催されました。もちろん私も参加させていただき、会長の土師眞一様をはじめ、主に倉敷市として矢掛町にお住まいの方々との総会、懇親会は本当に和気あいあいとした雰囲気となりました。それにしても皆様本

当に明るくお元気でした。懇親会ではクイズあり、カラオケあり。私も名曲「いつでも夢を」を事務局長の村上津詞子様とデュエットで熱唱。楽しい時を過ごさせていただきました。どんなに感謝しても足りないくらい元気な素をいただいた次第です。

本校の長い歴史において、この10年間は、大きな変動の期間となつていくことに気づかれます。現在、社会を取り巻く情勢は激しい勢いで様変わりし、教育に対する改革も急務の課題となり、長期的な展望に立つたうえでの魅力ある学校づくり、地域との連携に基づく開かれた学校づくりが求められて

います。県内において岡山市、倉敷市以外の地域では、少子化の影響が顕著なものとなり、多くの高等学校が定員割れの状況となつております。本校も県から新たな研究指定を受け、「高校と地域で創る未来の学びプロジェクト事業」に取り組んでおりますが、「学校の魅力化」のための取組とともに「確固とした地域連携の組織づくり」にも重点を置いた実践の過程で、矢掛町及び地域の方々による全面的な御支援と御協力のもと、本

当に多くの収穫がありました。

特に大きな収穫となつたのは地域の方々と学校との間で「小中高12年間の中で学校と地域とが連携して、この地域で育つ子どもたちを、自立し、社会貢献できる若者に育てる」、「矢掛高等学校が地域にとって必要不可欠な、地域活性化の一翼を担う存在である」という共通認識が皆で共有できたことであると考えます。今まで以上に地域及び各種関係機関との連携を深化させ、矢掛高等学校が、地域活性化の一翼を担える、地域になくてはなら

ない存在へと更なる成長を遂げるべく、教職員、生徒、保護者の皆様、同窓会の皆様、地域の方々と共に鋭意邁進して行きたいと思ひます。

ここで改めて本校の今後の方向性や在るべき姿について考えてみますと、全国、そして全県的な少子化の流れの中で、特に本校の位置する県南西地区は、その傾向が顕著であり、その流れの中ではどのように努力しても、生徒数の減少はある程度仕方がないものであると感じています。そのこと自体は、怖くはありません。それよりも矢掛高等学校という、120年以上に渡つて矢掛町を中心とした地域に位置する、いわば人材育成のための公的教育機関が地域の活性化に寄与し、地域に必要とされる存在であり続けることが本校のアイデンティティ、つまり存在意義であると考えます。ですから、この公的教育機関の存在意義の重要性が生徒、保護者、同窓生、そして地域の方々に正しく認識されなくなること

を私自身、校長として、同窓生として、そして矢掛町民として強く懸念しております。

本校の存在意義を深く考察してみますと、120年を超える歴史の中で、常に多くの若者の夢を育み、その澁淵とした若い力によって、地域に勇気と誇り、そして活力を与え続けてきた本校の軌跡が改めて見渡されます。

長い間、この地にあつて当たり前であった存在、公的な教育機関である矢掛高等学校のこれからの存在意義を、今まで以上に堅固に、そして魅力的に紡いで行けたらと強く決意する今日この頃です。

同窓会の皆様には、今後ともあたたかい御支援と御協力をよろしくお願ひいたします。

矢掛高校同窓会 矢掛町役場支部設立について

矢掛高等学校同窓会矢掛町役場支部支部長

矢掛町長 山岡 敦



令和4年5月、町長に就任する以前から、矢掛高校同窓会幹事会に参加させて頂いており、矢掛高校の現状や魅力化の取り組みを始め常に矢掛高校を支援する同窓会の運営に参加して参りました。町長就任後は、小職はもとより副町長教育長も

矢掛高校同窓生というところから、矢掛町に唯一の高等学校を支援するには、まずは同窓生の町職員が意思を示すべきと役場支部の設立を決意し、令和4年8月1日に設立総会を開催しました。役場職員が矢高支援を内外に示すことで、役場全体、延いては町全体に矢高支援の輪を広げたい目標がございます。ただし、職員には負担にならぬよう年に1度の総会参



加をお願いする程度となつておりますが、役場支部で矢掛高校への提案を募集したところ多くの提案があるなど、矢掛高校の魅力化には期待を寄せているものと存じます。

全国的にも普通科の県立高等学校の同窓会支部の設立は少ないかもしれませんが、60名の支部員と共に意義ある組織として矢掛高校の発展並びに魅力化に微力ながら活動して参りたいと考えています。

結びに役場支部のみならず同窓会全体で矢掛高校を支え続けていくことで、120年を超える歴史ある矢掛高等学校が更新なる魅力化が推進され、益々発展することを祈念申し上げ本校同窓会矢掛町役場支部設立にあたっての寄稿とさせて頂きま

矢掛高校同窓会

あれこれ

関東支部総会

懇親会便り

令和5年5月16日(火)
リコッタ丸の内
(旧ポールスター)

川井洋右 (昭和35年卒)

関東支部総会ならびに懇親会が5月16日(火)東京駅近くにあるリコッタ丸



始まり、つづいて石井支部長が開催の挨拶をしました。母校の高月校長先

同窓会本部から池田会長をお迎えしました。

総会は、物故者に対し黙祷をささげ、母校の校歌を斉唱して



の内(旧ポールスター)で4年ぶりに開催されました。

来賓では、母校から高月校長先生、加藤先生のお二人、矢高

再会を楽しみに散会となりました。

近況等のお話を聞きました。支部会員の参加者は29名で、4年ぶりの再会のため有意義な楽しいひとときとなりました。最後に、故郷矢掛のお土産をいただき、一年後の

懇親会では、乾杯の音頭、ご挨拶を昭和27年卒の小出昌成氏にお願いし、高校時代の思い出、

故郷矢掛のお土産をいただき、ご挨拶をいたしました。

生からは、創立120周年記念誌「濫觴」(らんしょう)の作成に数多くの方々が携われた事、在校生が所属する「探求コース」「総合コース」「地域ビジネス科コース」におけるそれぞれの活躍状況の報告を聞きました。

池田会長からは各地区の同窓会の近況と、コロナ禍が衰退している現在、矢掛の町に数多くの人々が訪れている状況の報告を聞きました。矢掛町の山岡町長からは、ご挨拶状と故郷矢掛のお土産をいただき、ご挨拶をいたしました。

第36回 総会

倉敷たかつま会

村上津詞子 (昭和45年卒)

倉敷たかつま会総会及び懇親会が6月4日(日)、国民宿舎サンロード吉備路に於いて4年振りに開催できました。

23名の同窓生と来賓として起こ

しいただいた高月校長先生を合わせて24名の参加で和やかな会となりました。

3年のブランクがある中、開催できる喜びよりも果たして何人の参加者が集まるのか心配しており、

昭和31年卒の最年長、妹尾顧問をはじめ若くは平成元年卒まで幅広い年代の参加となりました。

た時代の生徒数に比べ現在は3分の1まで減少しているとのことですが、少なければ少ないなりに新しいことへの挑戦や創意工夫など地域連携も図



国民宿舎「サンロード吉備路」にて 令和5年6月4日

だいた方も2名おられ少し安堵したところです。総会では高月先生に矢掛高校の現状についてお話をいただきました。

1学年7クラスもあつ

令和5年 卒業生より



つておられることが分かりました。新型コロナウイルス感染症が下火になったとは言

え終息したものではありません。まだまだ油断はできないところですが、今後も同窓生が集い親睦を深める

「高校3年間を振り返って」

藤井敦也

私は第一志望の大学に合格することができた。しかしそこにたどり着くまでの高校生活を思い返してみると楽な道のみではなかったと思う。

地元であるという安易な理由で私は矢掛高校に入学した。そこではほとんどの人が地元からそのまま進学した人であり新しい人間関係を築くことができなかった。だが私と幼いころからの仲である友人が何人かいて、高校三年間を楽しく過ごすことができた。今考えると彼らとクラスメイト



中で矢掛高校の充実発展に寄与できれば幸いです。

になれたことが私の高校生活で最も幸運なことだと思う。高校入試の際も矢掛高校の特別入試を受け、周りの人が当然のように受かっていたが落ちてしまった。当然私は入学時の成績は下から数えたほうが早いほどであり今考えると大学入試一般合格など全く考えられないほどの成績だったと思う。そんな私が進学できたのも友人の助力がなければ不可能であったと思う。私は一年生の時に特に英語に力を入れて学習した。英語は文系でも理系で必要な能力であると先生に言われていたし、単に私が最も苦手な教科だったという理由もある。英語の学習に利用するワークも初めは全部埋めるだけでとても時間がかかったし、ほとんど

あつていないこともあつた。そんな状況で私は友達にわからないところを聞くことが多かった。幸いなことに私の友人たちは成績優秀で、学年でトップクラスの人ばかりであつたので私が悩むような問題は簡単にわかるし、その場で解説もしてくれた。その甲斐もあつて、私の成績は上がり、英語のテストでクラス1桁になることもあつた。ほかの教科も英語ほどではないが、助けてもらうことが多く、彼らは私の目標になりテストで勝てるようになることを目指すようになった。その後も助け合いを続け、一度だけ模試で勝つたことがありその時はとてもうれしかった。学年が進んでも協力してもらうこともあつたが自力でできる量が増え、実力がついて行つたと思う。受験期には各々の学習が大事になり、入試対策のために私は多くの先生にお世話になつた。推薦入試の対策として面接、数学、物理と時には夜になるまで練習に付き合つていただいた。結局

推薦入試には落ちてしまったが、その後の一般入試に向けて切り替えるために先生方には激励の言葉をいただき、何とか一般入試をやりきることができた。私の高校生活は家族、友人、先生方とたくさんの人に支えられていたと思う。これから大

「受験記」

藤永翔大

学生として、人とのつながりを大事にしてコツコツとたゆまぬ努力を積み重ねていきたい。



私が受験勉強をする際に最も大切だと思つていることがある。それは我流で学ぶことである。教科書、参考書には著者なりの解法、理解の仕方又は一般的で多くの人にとつてわかりやすいものが載つている。しかし十人十色という四字熟語があるように人はみな違う。教科書、参考書の通りに覚えるかどうかは本人次第だがそうするのが正解とは限らない。我流といつてもどうやって我流を見つければいいのか疑問に思う人もいるだろう。私なりの見解ではあるが、人は楽しいとき情報をよ

く吸収し退屈な時全く吸収しない。誰しもが近似的な体験をしたことがあると思う。ただ楽しいといつても人によつて楽しさが異なるためこれは1例として示すが、私は数学、物理の公式、国語の慣用句、古文の単語、漢文の句形、英単語、文法、化学、地理の用語をただ暗記するのはとてもつまらないことだと思つた。「ただ覚える」はつまらない。漫画やゲームでも同じ作業の繰り返しはつまらない。その結果を求めて突き進める人も存在するだろうがそんな人はごく少数である。私も例外では

ない。ではどのようにしてそんな退屈から抜け出すばいいだろうか。幸いなことに学問は現実という複雑なものを対象としている。つまり、必ず原因がある。必ず物語がある。その物語1つ1つはあたかも別の物語のような顔をしている。だが、だがしかし、たくさん深くまで物語を読み漁っていくとだんだん見えてくるものがある。塵も積もれば山となるというがまさにそうである。学校で習う一見退屈な内容が原因や常識といった欠けているピースを補うことによつて今まで読んだことのないような物語に化ける。アニメ、漫画、小説でも最初はつまらないのに徐々に伏線が回収されることによつて秘めていた可能性が姿を現すことがある。では、この世界の真理はどうだろう。多くの日常的、普遍的な伏線がちりばめられていて未知であふれている。未知が既知になるにつれ伏線が露見する。時々伏線に気づき既知が未知になり未知が既知になる。

もしかしたら今知つていない常識すら覆す展開がある可能性も時十分ある。誰も結末を知らずまだ世界は謎に包まれている。まだこの世界すらも序章にも到達できていないだろう。そんなこの世界の真理を知り、自らの手で伏線に築けるといふのはとても楽しいことではないか。かなり話の規模が大きくなったので戻すが、学ぶなら機械的ではなく、裏に隠れている物語を読みながら自分のペースで自分なりの解釈の仕

方で楽しんだほうが学問を楽しめると思う。人間は未知を昔から求めてきていたが、それは苦しい、退屈な学問ではなく、次の話を読み伏線まみれの物語に圧倒的な魅力を感じる娯楽的意味合いの学問だからこんなに発展したのではなからうか。



矢高近況報告

受験勉強も頑張っています。

校庭の片隅に彼岸花が咲きました。矢高にも秋が...

全国から生徒を募集します。一緒に学びませんか?

全国募集はじまるよ

県教育長賞受賞

高校生社会課題解決アイデアコンテスト



事務局より

一、同窓会常任幹事会について
令和5年7月22日(土)、本校高妻会館において常任幹事会が開催され、次の6件について協議された。

- (一) 役員交代について
(二) 令和4年度事業報告及び会計決算について
(三) 令和5年度事業計画及び会計予算について
(四) 被表彰者について
(五) 令和5年度同窓会総会について
(六) 令和6年度同窓会総会の幹事団について

(一) 役員交代について

○矢掛支部

監事 退任

木口 東(昭37卒)

(二) 令和6年度同窓会総会について

来年度の総会幹事団はローテーション表により、「昭和48年卒」「昭和58年卒」「平成5年卒」「平成15年卒」「平成25年卒」「令和5年卒」の6期の卒業生が担当することになる。

二、被表彰者について(該当者なし)



令和4年度 事業報告

Table with 2 columns: 月日, 事業内容. Lists activities from May to March.

令和5年度 事業計画

Table with 2 columns: 月日, 事業内容. Lists planned activities from May to March.

令和4年度 同窓会会計決算書

令和5年3月31日 (単位:円)

Income statement table for FY2022 with columns: 項目, 予算額, 収入済額, 比較増減, 摘要.

Expense statement table for FY2022 with columns: 項目, 予算額, 支出済額, 差引残高, 摘要.

(収入済額) 1,779,690円 - (支出済額) 732,709円 = (次年度繰越額) 1,046,981円

令和5年度 同窓会会計予算書

(単位:円)

Income statement table for FY2023 with columns: 項目, 令和5年度予算額, 令和4年度予算額, 比較増減, 摘要.

Expense statement table for FY2023 with columns: 項目, 令和5年度予算額, 令和4年度予算額, 比較残額, 摘要.

(必要に応じて項目間の移用を認める。)

令和4年度 伸びる・伸ばす矢高奨学金決算書

(創立110周年記念事業募金)

令和5年3月31日 (単位:円)

Table for scholarship account for FY2022 with columns: 項目, 金額, 備考.

Table for scholarship account for FY2022 with columns: 項目, 金額, 備考.

(収入済額) 914,167円 - (支出済額) 700,000円 = (次年度繰越額) 214,167円

令和4年度 同窓会積立金会計決算書

令和5年3月31日 (単位:円)

Table for scholarship fund account for FY2022 with columns: 項目, 予算額, 収入済額, 支出額, 差引残額, 摘要.

令和5年度 同窓会積立金会計予算書

(単位:円)

Table for scholarship fund account for FY2023 with columns: 項目, 令和5年度予算額, 令和4年度予算額, 比較増減, 摘要.